

連合山形ニュース

RENGO YAMAGATA NEWS



日本労働組合総連合会
山形県連合会

〒990-0044 山形市木の実町12-37 大手門パルズ内

☎ 023-625-0555

FAX. 023-624-7661

メールアドレス: info@yamagata.jtuc-rengo.jp

No.144

2018年11月30日

ホームページアドレス: <https://www.rengo-yamagata.jp/>

新会長に水戸吉一氏(交通労連)を選出 連合山形第31回年次大会を開催

連合山形は第31回年次大会を11月9日、大手門パルズにて、開催しました。

開会に先立ち小口裕之会長代行は、「昨年の定期大会の中間年にあたる年次大会であり、この1年間の総括から補強して向こう1年間の活動補強方針を決定する大会である」とし、「2019春季生活闘争での格差是正、働く者の立場にたった働き方改革の取り組み、組織拡大の取り組みを強化するとともに、安倍政権の暴走に歯止めをかけるために、統一地方選挙、参議院選挙勝利のために万全の態勢を整え、全力で闘い抜こう」とあいさつ。

来賓として、若松正俊山形県副知事、齋藤順治山形市副市長、青柳安展国民民主党県連代表、高橋啓介社民党県連代表、舟山やすえ参議院議員梅津庸成政策秘書よりあいさつをいただきました。

大会では一般活動報告と2019年度活動補強方針(案)、会計決算報告、2019年度予算(案)が質疑を経て全会一致で承認されました。

役員の補充選出では、2018年1月の岡田新一会長の急逝から不在だった会長職に水戸吉一氏(交通労連)が選出されました。また副会長に蒲原清天氏(UAゼンセン)、柿崎隆英氏(電機連合)、齋藤洋次氏(交通労連)、執行委員に上野航太郎氏(青年委員会:自治労)、会計監査に庄司裕亮氏(労金労組)がそれぞれ選出されました。合わせて、これまで副会長で会長代行を担ってこられた小口裕之氏も引き続き会長代行として選出されました。任期はそれぞれ2019年の第32回定期大会までとなります。

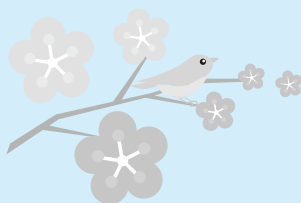
最後に参加者全員で「働くことを軸とする安心社会の実現に向け、今こそ、次の飛躍へ、確かな一歩を踏み出そう」とする大会宣言を満場の拍手で確認し、新たに会長に選出された水戸会長の「団結がんばろう」三唱で閉会しました。



新会長に選出されあいさつする水戸吉一氏



議長団の左から伊藤真理代議員(JAM)と松尾拓哉代議員(自治労)



2019連合山形新春旗開き

と き: 2019年1月7日(月) 15時30分

ところ: 大手門パルズ



決意を述べる水戸吉一新会長

改正労基法の施行や組織拡大、参議院選挙・統一地方選挙への対応など課題は山積している。逃げることなく、しっかりと真摯に取り組んでいきたい。岡田前会長や先輩たちが築いてきた30年の歩みを財産に、仲間とともに力を合わせ、運動を強化していきたい。

役員の補充選出者一覧（任期：2019年第32回定期大会まで）

役職名	氏 名	構成組織名
会 長	水 戸 吉 一	交通労連
会長代行	小 口 裕 之	県教組
副 会 長	蒲 原 清 天	U Aゼンセン
副 会 長	柿 崎 隆 英	電機連合
副 会 長	齋 藤 洋 次	交通労連
執行委員	上 野 航 太 朗	青年委員会（自治労）
会計監査	庄 司 裕 亮	労金労組

役員の退任者一覧

役職名	氏 名	構成組織名
副 会 長	角 谷 俊 一	U Aゼンセン
副 会 長	井 上 雄 吾	電機連合
執行委員	本 間 光 祐	青年委員会（自治労）
会計監査	芳 賀 晃 一	労金労組

山形県退職者連合第26回定期総会を開催

10月25日、大手門パルズにおいて、山形県退職者連合「第26回定期総会」が開催され、2018年度活動報告、2019年度活動計画が全会一致で確認されました。

定期総会の参加者は、連合山形に結集する現役の組合員とともに、地域において信頼される組織として認知されるように、運動を前に進めていくことを誓い合っていました。



あいさつする伊藤会長

〈2019年度役員体制〉

役 職 名	氏 名	所 属	備考	役 職 名	氏 名	所 属	備考
会 長	伊 藤 寛	山退教協	再任	幹 事	上 野 力	UAゼンセン山形友の会	再任
副 会 長	田 中 正 子	出羽路会	新任	幹 事	小 山 宗 利	山形交通OB会	再任
副 会 長	江 口 一 男	J P 労組退	再任	幹 事	細 谷 正 實	第一貨物退	再任
副 会 長	秋 葉 聖 史	県職員退	新任	幹 事	高 橋 宗 一	全日通退	再任
事 務 局 長	鈴 木 文 夫	山形市職労退	再任	幹 事	田 村 義 美	東北電力OB会	再任
事務局次長	山 川 長 生	ろうきん退山形	再任	幹 事	志 鎌 一 夫	J R 総連OB会	再任
事務局次長	柏 木 実	連合山形	再任	幹 事	石 山 豊	最上地区退連	再任
幹 事	斎 藤 裕 治	N T T 労退	再任	幹 事	渡 部 啓 一	酒田飽海地区退連	再任
幹 事	斎 藤 壮 一	庄内交通交寿会	再任	幹 事	佐 々 木 敏 安	西村山地区退連	再任
幹 事	太 田 良 一	山退教協	再任	幹 事	阿 部 紘 三	北村山地区退連	再任
幹 事	梅 津 一 春	山高退協	再任	幹 事	小 泉 信 三	田川地区退連	再任
幹 事	三 浦 武	秋田山形林退会	再任	会計監査	鈴 木 清 次	県職員退	新任
幹 事	杉 原 邦 雄	農水省退	再任	会計監査	森 谷 昭 江	出羽路会	再任
幹 事	佐 藤 研 治	上市市職労退	新任				

女性委員会第30回総会を開催

連合山形女性委員会（木口久仁子委員長：J P 労組）は、10月27日、大手門パルズにおいて「第30回総会」を開催し、2018年度の活動を振り返り、2019年度の活動補強方針を確立しました。

昨年度に規約が改正され、役員の任期が2か年となったことから、今年度は役員2年目となり、活動の幅も広がり、女性委員会運動の更なる前進が期待されています。

総会終了後には、(株)Bマインド 代表取締役 関根近子氏を講師に迎え、「仕事もプライベートも輝いて生きる」と題した学習会が行われ、講師の話にメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

〈2019年度役員体制〉◎は新任

役 職	氏 名	構成組織
委員長	木口久仁子	J P 労 組
副委員長	秋葉奈緒子	交 通 労 連
副委員長	金谷由美子	J A M
副委員長	星野 幸子	電 機 連 合
事務局 長	秋山 和子	自 治 労



あいさつする木口久仁子委員長

役 職	氏 名	構成組織
事務局 次長	中嶋 香純	自 動 車 総 連
事務局 次長	◎川村 杏奈	情 報 労 連
事務局 次長	齋藤 厚子	電 力 総 連
事務局 次長	下田 礼佳	県 教 組

青年委員会第29回総会を開催

連合山形青年委員会（荒井拓也委員長：情報労連）は、10月27日、大手門パルズにおいて「第29回総会」を開催し、活発な質疑の中で、2018年度の活動を振り返り、2019年度の活動補強方針が確立されました。

荒井委員長は、「活動方針に基づき、学習と交流を柱に、青年運動を前に進めたい」と決意を述べました。

総会終了後、七日町メンタルクリニックの高橋誠一郎院長を講師に迎え、「がんばり過ぎないためのセルフケア」と題して学習会を開催し、働き過ぎ、頑張り過ぎから自分の心と身体の健康を守るヒントを学びました。

〈役員体制〉(◎は新任)

役 職	氏 名	構成組織
委員長	荒井 拓也	情 報 労 連
副委員長	小林 史人	全 労 金
副委員長	金子 良	県 教 組
副委員長	本間 智也	J P 労 組
副委員長	鈴木 友博	交 通 労 連



活発に意見交換された青年委員会総会

役 職	氏 名	構成組織
事務局 次長	◎上野航太郎	自 治 労
幹 事	門馬 碧海	電 力 総 連
幹 事	◎菊地 佳樹	電 機 連 合
幹 事	◎阿部 芳紀	J A M
幹 事	◎佐藤 拓也	森 林 労 連

「働き方改革関連法の改正」が2019年4月施行!!

時間外労働の
上限規制 ※1

年次有給休暇の
取得促進 ※2

労働時間の
客観的な把握

※1 時間外労働の上限(限度時間)は、月45時間・年360時間とし、臨時的な特別の事情がある場合でも、①年720時間、②休日労働を含み半月100時間未満、③休日労働を含み2～6ヶ月平均80時間、④原則である月45時間の時間外労働を上回る回数は年6回までを限度とすることを罰則付きで規定(中小企業への適用は2020年4月)。

※2 10日以上有給休暇が付与される労働者に対し、使用者は毎年時季を指定して5日取得させることを規定。

※3 月60時間を超える時間外労働への割増賃金率(50%以上)について、中小企業への猶予措置を廃止(2023年4月施行)。

勤務間インターバル
制度の普及促進、
中小企業における割増賃金率の
猶予措置廃止 ※3など



が導入されます!

2019年度予算編成に向けた「県所管課との意見交換会」を開催

2019年度予算編成に向けた連合山形と「県所管課との意見交換会」を10月16日、県庁を会場に開催しました。冒頭に水戸吉一政策制度確立委員長から「連合山形が雇用労働政策・行政改革・産業環境政策・社会保障政策・教育政策の5つの部会で約3か月かけてまとめた政策制度について、県の担当所管課と意見交換を行うことで、共通の理解が図られ、私どもが求める政策制度が一步でも前進できるように要請したい」と述べ、各部会2項目以内に絞り、県の担当所管課と多岐にわたる活発な意見交換が行われました。

意見交換した項目は以下のとおり

【雇用労働政策】

1. 障害者の就労支援の強化について

【行政改革】

1. 総合的な防災・減災対策の充実について
2. 公文書の管理について

【産業・環境政策】

1. インバウンド観光の促進について
2. 河川氾濫時における対応について

【社会保障政策】

1. 切れ目のない医療を提供する体制の確立について
2. 子ども子育て支援新制度の着実な実施とすべての子どもが心身ともに健やかに育つための環境整備について

【教育政策】

1. 教職員の「働き方改革」について
2. 就学支援の改善と居場所づくりにについて



連合の政策について説明する
水戸吉一政策制度確立委員長

来夏の参院選勝利に向け、「地域のチカラ」の結集を 舟山やすえ「政経セミナー2018」を開催

舟山やすえ参議院議員の「政経セミナー2018」が11月19日、山形市のパレスタグランデールを会場に約500人が参加して開催されました。

第1部は1944年中国黒竜江省で出生。山形県白鷹町出身の政治ジャーナリストの田勢康弘氏を講師に迎え、「隠蔽と忖度の政治に決別を」と題した講演が行われました。

田勢氏は、「危機突破解散と銘打って昨年総選挙が打たれたが、突破しなかったのは森友・加計問題をはじめとした隠蔽と忖度の自らの政治疑惑だったと言わざるを得ない。また、世界情勢や外交、そして国内情勢など安倍総理は不都合な真実を語らず隠している。国民の一人ひとりの生活に目を向け、地方の声を上げていくことが重要だ」と解説しました。

第2部であいさつに立った舟山やすえ参議院議員は「今年は重要な政治決戦の年だ。統一地方選挙で仲間をしっかりと当選させ、その勢いを参議院選挙の勝利につなげる。地域の声を県民の声をしっかりと国政に届けられる私たちの候補者を早急に擁立し、今の政治の流れを変える一步を踏み出さなければならない」と力強く決意を表明し、支持の輪の拡大を呼び掛けていました。

また、「政経セミナー2018」に先立って、舟山やすえ参議院議員の呼びかけで来年夏の参議院選挙に向けた会合が開かれました。会合には舟山氏のほか、青柳安展国民民主、高橋啓介社民、石黒覚立憲民主の各党県連代表、水戸吉一連合山形会長が出席し、今後無所属の県議など自治体議員を入れた「5者会議」に発展させて態勢を整え、統一候補を年内に決定し、年明けから参議院選挙勝利に向けた動きを本格化することが確認されました。



第1部で講演する田勢康弘氏



決意を述べる舟山やすえ参議院議員

オール山形で「人財」不足を克服しよう!

山形県労使共同フォーラムを開催

山形県労使共同フォーラムを、11月27日、霞城セントラル3階・山形市保健センター大会議室を会場に100人の参加で開催しました。このフォーラムは連合山形と（一社）山形県経営者協会が主催し、今回は「人財不足時代への対応策」をテーマに、パネルディスカッション形式で行いました。

冒頭、（一社）山形県経済社会研究所所長の立松潔山形大学名誉教授が県内企業に行なった「景気・雇用に関する動向調査」を解説し、「新卒者の県内定着、還流策などの政策を求める声が多く寄せられるなど、産業・業種別の人財不足状況が顕著に把握できた」ことが報告されました。その後、高木郁朗日本女子大学名誉教授をコーディネーターに、パネラーの平山雅之県商工労働部長、登坂久子あらた介護福祉士実務者養成学校専任教員、佐原伸児県建設業協会専務理事、水戸吉一連合山形会長から、それぞれの業種・立場から現状認識と取り組みの報告がなされ、会場からの意見も受けながら課題の共有化を図りました。



まとめとして高木郁朗コーディネーターは、「少子・高齢化、人口減少が急速に進む中で、山形県の特性を考慮しながら、オール山形（産学官金労言）で知恵を出し合い政策を作り、具体的な提言を積み上げ、成果として反映させていくことと、人財の量を質でカバーする仕組みも具体的に検討すべき」とし、参加者全体で確認していました。

36人が検定にチャレンジ!

ワークルール検定2018・秋（初級）を実施

（一社）日本ワークルール検定協会が行う「ワークルール検定2018・秋編」が11月23日、山形市の食糧会館を会場に行われました。山形会場には東北各地から36人が受検に訪れました。

今、職場の環境が変わり、働き方も多様になり、職場において色々な問題が起こっています。これは、グローバル化による企業間競争の激化や労働法制の規制緩和、働き方の多様化などが進行しているにもかかわらず、労働者にも管理職や経営者にもワークルール（働くときに必要な法律や決まり事）の知識が乏しいためです。

しかし、ワークルールを知っていれば、そういった働くことに関する問題を未然に防止できたり、解決できたりすることもたくさんあります。

働く人にとっては、知識を身につけることによって自分や仲間を守ることができます。また、会社にとってはコンプライアンスの推進や人材の確保に役立ちます。

そこで、ワークルールについて、正確な知識を獲得するための検定制度として2013年に「ワークルール検定」制度が生まれました。労働者（正規・非正規）、管理職、経営者など、どなたでも職場で役立つ知識を身につけることできる内容となっており、定着してきました。

山形では2回目の検定となりました。

ワークルール検定2018・秋（初級）は、11月23日（金・祝）に山形をはじめ、北海道（札幌、函館）、東京、山梨、愛知、新潟、奈良、和歌山、岡山、愛媛、沖縄の12会場で開催され、受検者は真剣な眼差しで問題に目を通し、回答を記入していました。



東北ろうきん

ウィンターキャンペーン

Winter
campaign

2018 11/1(木)
▶12/31(月)

もれなくもらえる

対象取引のいずれかを
ご利用いただいた方 全員に

山元いちごチョコレート

クランチ(7コ入り)プレゼント!



各種ローンの相談はろうきんへ

お申し込みも簡単!
24時間事前審査の
お申し込みが可能



対象取引

- ①定期預金(5万円以上の新規お預入れ、または増額書替え)
- ②積立型預金「財形預金」「エース預金」(年間積立額5万円以上の新規ご契約、または増額ご契約)
- ③マイプラン(新規ご契約)
- ④無担保ローン(「マイカーローン」「無担保住宅ローン」「教育ローン」「フリーローン」のいずれか新規ご契約)
- ⑤住宅ローン(新規お申込み)
- ⑥iDeCo(個人型確定拠出年金)(新規お申込み)
- ⑦投資信託(5万円以上の新規ご購入、または年間5万円以上の定時定額買付のご契約)
- ⑧個人向け国債(5万円以上の新規ご購入)

※ATMやろうきんダイレクトでの取引も対象となります。(店頭でのお申し出が必要となります。)※キャンペーンのプレゼントは、個人のお客様が対象となります。※プレゼントは「1 お取引項目につきお一人様 1 つ」となります。※対象の商品概要については、店頭にて説明書をご用意しております。※詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。

2018年11月1日現在



東北労働金庫山形県本部

〒990-0044 山形市木の実町 12-37

☎ 0120-1919-62

ZENROSAI NEWS

0618A003

家族のお車 まとめておトク!

マイカー共済

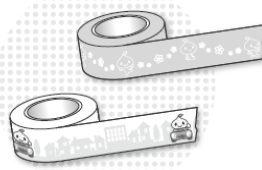
キャンペーン

新しくなって、
もっとおトクで安心の
補償へ。



共済ショップまたは所属協力団体で

吸水クロス



ロール付箋



いずれかをプレゼント!

※画像はイメージです。※ご希望の商品をお渡しできない場合がございます。

[キャンペーン期間] 2018 12/1(土) ⇒ 2019 1/31(木)

お問い合わせ先

共済ショップは山形県内に6カ所あります。

●営業時間 / 【平日】午前9時～午後5時(土・日・祝日除く)

※共済ショップ山形店は土曜日も営業(午前10時～午後4時)

共済ショップ山形店
土曜日も営業

☎023-646-4666

〒990-0827
山形市城南町1-18-22

共済ショップ新庄店

☎0233-23-5995

〒996-0084
新庄市大手町5-6

共済ショップ酒田店

☎0234-23-3160

〒998-0851
酒田市東大町2-6-8

共済ショップ鶴岡店

☎0235-23-6100

〒997-0033
鶴岡市泉町8-73

共済ショップ米沢店

☎0238-22-6065

〒992-0012
米沢市金池3-2-7

共済ショップ長井店

☎0238-83-6035

〒993-0006
長井市あら町5-36



全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいている組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

山形推進本部
(山形県労働者共済生活協同組合)



3つの質問に答えるだけ!
かんたんお見積もり!

※スマートフォンのみ対応。
一部対応できない機種もございます。

らくらく診断

検索

